



一昨年からは始まった新型コロナウイルスの感染は、今なお収束していません。この影響で二年間、対面での鳥城会総会や史跡巡りは中止となりましたが、昨年度は、会計や役員再選などを郵送による

謝申し上げます。昨年度は、会員の皆様、特に若い世代の同窓生に対して、鳥城会が身近な存在になるために、魅力的で臨場感のあるホームページが必要不可欠であると考え、ホームページを開設計しました。

今年3月1日に開催された鳥取西高卒業式後の同窓会入会式では、ホームページのQRコードが付いた鳥城会の祝辞を卒業生全員に配布して頂き、誠にありがとうございました。これにより関東の大学等に進学された若い同窓生たちが鳥城会

の活動を知り、会員として入会されることを期待しています。また関連して、6月には新入会員歓迎会を行うことと致しました。鳥城会での交流や情報交換が大きな刺激と励みになること、若き同窓生の入会が鳥城会の更なる活性化に繋がって行くものと思っております。新型コロナウイルスの感染が収束した頃には、以前好評であった小規模な講演会や交流会の開催も検討しています。

来年度は鳥取西高の創立150周年に創り、鳥取西高や各地区の同窓会と連携して150周年記念事業の準備を進めて行きたいと思っております。

度から会報に広告を掲載することになりましたが、広告を通して鳥取西高の出身者が様々な分野で活躍されていることを広く知って頂くものと思っております。掲載に協賛して下さった方々に感謝を申し上げます。

が生命科学に関連した講義とミニ実験を受け持つことになりました。今年も押し迫った12月24日、冬休み前の登校最終日でした。午前中からホームルームが終わり、午後1時からグローバルサイエンスセミナーはスタートしました。参加者は、西高の2年生5名、1年生3名の他、鳥取東高から5名、倉吉西高から4名の生徒のほか、教員6名が参加しました。私の講義のタイトルは、Polymerase Chain Reaction。すなわち、PCRです。PCRは新型コロナウイルスの検査で有名な技術ですが、実は、生徒が身近に興味をもつ実験ではないかと考え、担当の林耕介先生と相談して決めました。しかも、一捻りレベルアップして、PCRによってコメの品種を判別する実験を企画しました。PCRの基本原理は、遺伝物質である

書面議決とし、併せてZoomによる総会(議決報告、特別講演、懇親会)を開催致しました。Zoomによる総会には、鳥取からリモートによって岡進校長や小谷文夫同窓会長がご参加下さり、改めて感

謝申し上げます。昨年度は、会員の皆様、特に若い世代の同窓生に対して、鳥城会が身近な存在になるために、魅力的で臨場感のあるホームページが必要不可欠であると考え、ホームページを開設計しました。

の活動を知り、会員として入会されることを期待しています。また関連して、6月には新入会員歓迎会を行うことと致しました。鳥城会での交流や情報交換が大きな刺激と励みになること、若き同窓生の入会が鳥城会の更なる活性化に繋がって行くものと思っております。新型コロナウイルスの感染が収束した頃には、以前好評であった小規模な講演会や交流会の開催も検討しています。

来年度は鳥取西高の創立150周年に創り、鳥取西高や各地区の同窓会と連携して150周年記念事業の準備を進めて行きたいと思っております。

が生命科学に関連した講義とミニ実験を受け持つことになりました。今年も押し迫った12月24日、冬休み前の登校最終日でした。午前中からホームルームが終わり、午後1時からグローバルサイエンスセミナーはスタートしました。参加者は、西高の2年生5名、1年生3名の他、鳥取東高から5名、倉吉西高から4名の生徒のほか、教員6名が参加しました。私の講義のタイトルは、Polymerase Chain Reaction。すなわち、PCRです。PCRは新型コロナウイルスの検査で有名な技術ですが、実は、生徒が身近に興味をもつ実験ではないかと考え、担当の林耕介先生と相談して決めました。しかも、一捻りレベルアップして、PCRによってコメの品種を判別する実験を企画しました。PCRの基本原理は、遺伝物質である

が生命科学に関連した講義とミニ実験を受け持つことになりました。今年も押し迫った12月24日、冬休み前の登校最終日でした。午前中からホームルームが終わり、午後1時からグローバルサイエンスセミナーはスタートしました。参加者は、西高の2年生5名、1年生3名の他、鳥取東高から5名、倉吉西高から4名の生徒のほか、教員6名が参加しました。私の講義のタイトルは、Polymerase Chain Reaction。すなわち、PCRです。PCRは新型コロナウイルスの検査で有名な技術ですが、実は、生徒が身近に興味をもつ実験ではないかと考え、担当の林耕介先生と相談して決めました。しかも、一捻りレベルアップして、PCRによってコメの品種を判別する実験を企画しました。PCRの基本原理は、遺伝物質である

が生命科学に関連した講義とミニ実験を受け持つことになりました。今年も押し迫った12月24日、冬休み前の登校最終日でした。午前中からホームルームが終わり、午後1時からグローバルサイエンスセミナーはスタートしました。参加者は、西高の2年生5名、1年生3名の他、鳥取東高から5名、倉吉西高から4名の生徒のほか、教員6名が参加しました。私の講義のタイトルは、Polymerase Chain Reaction。すなわち、PCRです。PCRは新型コロナウイルスの検査で有名な技術ですが、実は、生徒が身近に興味をもつ実験ではないかと考え、担当の林耕介先生と相談して決めました。しかも、一捻りレベルアップして、PCRによってコメの品種を判別する実験を企画しました。PCRの基本原理は、遺伝物質である

鳥城会が身近な存在になるために

1968(昭和43)年卒

鳥城会会長 小島憲道



発行 鳥城会事務局
03(6267)4550
制作 (有) august design
03(4405)6258



グローバルサイエンスセミナーで講演して
1980(昭和55)年卒 東京工業大学教授 岩崎博史

我々の母校は令和3年度スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に選ばれました。これは、将来の国際的な科学技術人材育成のため、先進的な理数教育を推進するもので、平成14年度から実施されています。個人的には母校が今年度SSHに指定されたのは多少遅きに失した感も多少ありますが、ともかく喜ばしいことです。西高のプログラムは、単に先進的な理数教育の実施のみならず、学際融合型プログラムによる幅広い科学的素養を有するリーダの養成を目指しています。その一環で、グローバルサイエンスセミナーが企画され、私



鳥取でのワーク&ライフバランスと人材交流

鳥取 取西高2005年3月卒業の藤山祥紀です。大学時代を京都で過ごし、その後、名古屋、東京で勤務した後、2018年から鳥取に戻りました。現在の鳥取での仕事とプライベートの過ごし方についてご紹介できればと思います。

サルディング業務に取り組んでおります。昨今の日本では、アナログな業務による生産性の低さ、経営者の高齢化や後継者不在による廃業など、企業経営における様々な課題が顕在化しています。私には、お客様の企業状況や把握して、様々なクラウド系のツールによるデジタル化のご提案や、事業承継に伴う後継者の社内改革のサポート、ご親族に後継者がいらつしやらない場合のM&Aによるマッチングなど、様々な課題に対応させていただきます。

後それでは企業は生き残っていけないと思われれます。今、他地域の企業と仕事をするための環境を整つたため、業務をデジタル化しリモートワークをとりこむなど、他地域とのつながりによりビジネスを作っていくチャンスです。東京をはじめ全国を対象にエリアをまたいだビジネスが盛んになることで、鳥取の企業は強くなると思っております。そして、私自身の事業を通じて、このような動きを鳥取でもっと増やしていければと思います。

このように感じ、鳥取の良さを生かして日々を過ごしながらも、仕事は東京を始め全国で展開する、といったライフスタイルを送っています。このような状況と鳥取に様々なバックグラウンドを持つ人材が集まり、様々な事業が生まれ、ビジネスがもつと活性化すると思っております。そのような存在の1人として活動していきたいです。

その方が依頼した弁護士を高く評価しているようであれば、その弁護士を紹介してもらう。古典的な方法ですが、紹介という方法はかなり合理的な方法のように思いますが、もしものときのご参考になれば幸いです。

一方、プライベートでは、鳥取の良さを十分生かして過ごせていると思っております。鳥取駅から近い中心市街地に住んでいくため、スーパー・マーケット・コンビニ・病院・保育園・公園などの公共施設や子育て環境が徒歩10分圏内にそろっており、利便性が非常に高いです。鳥取市は市街地がコンパクトにまとまっているため、普段の生活は便利で気楽に過ごすことができます。また、休日は家族と浦富海岸へドライブに行くなど、自然を満喫でき、子

どもも嬉しそうにしています。市街地の利便性と自然を満喫できる鳥取は、子育て環境には最適だと感じています。

理事長 井口 靖浩
鳥城会副会長 昭和51年卒業

for the Patient

私たちの法人では、医療だけではなく介護や在宅とも連携しながら、患者さま利用者さまに対して、人生を笑顔で、明るく前向きになって頂ける「トータルケア」を目指して参ります。

令和4年4月1日より
親水クリニックは
井口腎泌尿器科・内科 親水へ

医療法人社団 自靖会
自靖会は、医療・介護・在宅の連携を実現し地域の発展に貢献いたします

TEL: 03-5661-3872

医療法人社団 光靖会
光靖会は、専門外来と人工透析の診療を通じて皆さまに信頼されるクリニックを目指します

TEL: 03-6231-5931

になりまた。放送局に記者として就職してから近況を知らせ合ったり、出張で鳥取に戻れば宴の席を設けてくれたりする。少人数だけど息の長い付き合いが30年以上続いています。「たまりに思い出しがあるのもいいもんだ」と思っていた2019年の秋、鳥城会の代表幹事だった同期の森本広美君から突然、連絡があり「総会の準備を手伝ってくれないか」と頼まれました。森本君とは高校時代も面識がなく、共通の友人を通じて連絡先を知ったようでした。私の最初の質問は「鳥城会って何？」でもせつかく声を掛けてくれたのだからと引き受けました。

総会当日、会場には大先輩たちが100人規模で集結され、その道を極めた方々の講演会や校歌斉唱などで大いに盛り上がりつつありました。これは面白いイベントだと感じていると、通信社と新聞社に勤める2人の先輩から「来年の会報をつくらないか」と



会員寄稿 弁護士ドラマはフィクションです 2002年(平成14)年卒東京リーガルパートナーズ法律事務所

持ち掛けられました。初対面とはいえ記者仲間からの誘いは断り切れず、会報に原稿を寄せていただけそう先輩や後輩たちと連絡を取り合うようになりまし。同郷の方々が、卒業後それぞれに多彩な才能や専門性を発揮して、仕事に、趣味に、地域貢献に精力的に取り組む様子を聞き、鳥城会の活動や現役の学生や若い人たちにも知ってもらいたいと考えようになりまし。執行部の皆様のご尽力でホームページも完成し、去年の総会・懇親会は

コロナ禍で初のオンライン形式で行われました。双方向での世代間交流の素地が整いつつあります。いきなり総会に参加するのは勇気が必要でしたが、新しい出会いやつながりができるのは楽しいものです。鳥城会の魅力をどう伝えるか。あまり肩肘を張らず、身近なお仲間、西高の先生方や在校生、他の地域の同窓会などのおつきあいをベースに、柔らかな雰囲気の小さな集まりから交流の輪が広がっていくといいなと思います。

の脅威、ロシアによるウクライナ侵攻など国内外の状況は依然として予断を許しません。そんな時だからこそ自分の知らない世界と積極的につながることで生まれるものがある、互いに刺激を受けることで見えてくる未来が必ずあると信じています。

マイクの2人を中心にしたドラマが展開していきます。ドラマの肝とも言えるのが、マイクは天才的頭脳を持つという一方で、実は大学も卒業しておらず、もちろん司法試験にも合格していない偽の弁護士だということ。この点、日本の弁護士は、弁護士法により各地方の弁護士会を経て日弁連に登録されることが義務とされているため、手続き上のタイムラグは幾許かあるものの、日弁連の用意した弁護士検索サイトにて全て登録番号、登録事務所名等を確認することが可能。そのため、日本では、マイクのような偽弁護士が現実に弁護士業務を行うことは難しいといえそうです。

ちなみに、SUITSは織田裕二さん主演で日本でもドラマ化されているようですが、先にこの説明があったか、日本版では、実在するが活動していない弁護士に成りすますという設定になっ

弁護士とって、ここ数年で、業務の形が大きく変化しました。同様の

状況の方も多いため、ZoomやTeams等を利用して非対面での打ち合わせの増加、外環の激減といった環境の変化による、自宅を過ごす時間が増えています。自宅を過ごす時間が増えた結果として、NetflixやYouTubeといった映像ストリーミン

グサービスを利用することも増えました。今回は、そのようなサービスを通じて視聴したSUITSという海外ドラマの話をさせて頂くと思

でもなく、中途半端な高校生活を送ってしまったなと思返しています。卒業後すぐに鳥取を離れ、一浪して東京の大学へ。家族も大阪に転居したもので、これで鳥取とも西高とも縁が切れたかな」と思っていた頃、偶然クラスメートと再会し、何人かの同級生と親しくするよう



実習中の様子。立派な生物学実験室で、3-4人が一つのグループとなって実験しました。

PCR反応によって増幅することで検出することができるようになります。PCRで重要な点は、プライマーセットの選択です。検出したいDNAと対合するプライマーを選ぶ必要があります。なぜなら、対合できないプライマーセットを使うとDNAが合成されないからです。ところで、品種が異なるわけ、たとえば、「コシヒカリ」では対合できるプライマーセットが「あきたこまち」では対合できないというよ

うなことが起こります。すなわち、或るプライマーセットAを用いると「コシヒカリ」のDNAを増幅できるけど「あきたこまち」のDNAは増幅できない。プライマーセットBはこの逆。別のプライマーセットCを用いると「コシヒカリ」も「あきたこまち」のDNAを増幅できる。このような原理を用いて、コメ品種を判別するわけですね。実は、新型コロナウイルスのPCR検査もこの原理を用いています。新型コロナウイルスはRNAウイルスですので、

一旦遺伝子工学的にDNAに変換するという操作が必要ですが、その新型コロナウイルス由来のDNAに特異的に対合するプライマーセットを用いることで、ウイルスの有無を判定しています。実験の待ち時間に講義を行っていたのかなりタイトなスケジュールで4時間ぶつ続けのセミナーでした。実験結果は思ったようになりませんでした。これはコメからうまくDNAを抽出できていなかったのではと思

- #### 活動事例
- 第27回スーパーコンピューティングコンテスト2021 西日本代表
主催：大阪大学(サイバーメディアセンター)、東京工業大学(学術国際情報センター)、理化学研究所(計算科学研究センター)
<https://www.r-ccs.riken.jp/outreach/events/supercon-fugaku-2021/>
 - 第19回全国高等学校パソコンコンクール(パソコン甲子園)2021 全国大会出場
主催：会津大学、福島県
https://web-ext.u-aizu.ac.jp/pc-concours/2021/final/f_finalteam2021.html
 - 第21回全国情報オリンピック本大会出場
地方予選を経て本選に参加する183名に選ばれた
<https://www.ioi-jp.org/joi/2021/2022-ho-invited-list.html>
 - 第19回高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC) 朝日新聞社賞
主催：朝日新聞社
アメリカ・ジョージア州アトランタで2022年5月に開催される国際大会(ISEF)に出場予定
<https://manabu.asahi.com/jsec/2021/award/index.html>
<https://www.societyforscience.org/isef/>
 - 第11回高校生バイオサミット in 鶴岡 文部科学大臣賞(第1位)
主催：慶應義塾大学
<https://www.bio-summit.org/award2021.html>
 - 第16回科学地理オリンピック日本選手権 兼第18回国際地理オリンピック選抜大会 銅メダル受賞
https://japan-igeo.com/pdf/kagakutiri_2022_Second_Gold.pdf

年間、我が後輩はコロナ禍で青春の最も輝かしい時期を無念にすごしていたのではと心配しておりました。2021年度だけでも以下に示すように、ものすごく頑張っています。彼らの未来が輝かしいものであることを確信して皆様にご報告します。

「2年間しかいなかったけれど...」
1983(昭和58)年卒 NHK記者・社会保険労務士 藤本真人



私 が鳥取西高に通い始めたのは高校2年の春。新聞記者だった父の転勤で、三重県から引越してきまし

た。転校には慣れなかった。環境の変化は思った以上に大きく、10代後半の反抗心も手伝って、自分から仲間に入れてもらえないような雰囲気づくりがうまくなってしまいました。バンドを組んで文化祭に出るくらいはしましたが、勉強にも入らず、勉強に身を入れるわけ

でもなく、中途半端な高校生活を送ってしまったなと思返しています。卒業後すぐに鳥取を離れ、一浪して東京の大学へ。家族も大阪に転居したもので、これで鳥取とも西高とも縁が切れたかな」と思っていた頃、偶然クラスメートと再会し、何人かの同級生と親しくするよう

マイクの2人を中心にしたドラマが展開していきます。ドラマの肝とも言えるのが、マイクは天才的頭脳を持つという一方で、実は大学も卒業しておらず、もちろん司法試験にも合格していない偽の弁護士だということ。この点、日本の弁護士は、弁護士法により各地方の弁護士会を経て日弁連に登録されることが義務とされているため、手続き上のタイムラグは幾許かあるものの、日弁連の用意した弁護士検索サイトにて全て登録番号、登録事務所名等を確認することが可能。そのため、日本では、マイクのような偽弁護士が現実に弁護士業務を行うことは難しいといえそうです。

ちなみに、SUITSは織田裕二さん主演で日本でもドラマ化されているようですが、先にこの説明があったか、日本版では、実在するが活動していない弁護士に成りすますという設定になっ

リンガーハットグループは昭和37年、長崎市鍛冶屋町の「とんかつ浜かつ」の開業に始まります。その後、長崎ちゃんぽん専門店として「リンガーハット」の店舗展開を始めて、創業より60年が経ちました。今では海外へも進出し、グループ合わせて700店余を展開しています。

株式会社リンガーハット
名誉会長 **米濱和英** (鳥取市出身)

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル14F
TEL 03-5745-8611 FAX 03-5745-8622

国産野菜たっぷり「彩り野菜のちゃんぽん」

アカウントワークス 株式会社
代表取締役 公認会計士/税理士 **花房幸範**
東京都中央区八丁堀1-4-5 川村八重洲ビル5階
☎03-4586-1051 <http://acwks.com>

八丁堀税理士法人 代表社員 花房幸範/北沢憲之
東京都中央区八丁堀1-4-5 川村八重洲ビル3階
☎03-6280-5273 <https://hcbtr.com>

(株)グラン・クリュ食工房
代表取締役 河崎妙子 (昭和53年卒)
鳥取にレストランを開いて11年。
地元の食材を生かした創作料理の研究を重ねております。
帰鳥される折はぜひお立ち寄りくださいませ。

『カフェ・ダール ミュゼ』
鳥取県立博物館内
☎0857-20-2520

『アジアリゾートラウンジ陶庵』
鳥取砂丘コナン空港内
☎0857-31-0007